

夏原の施工事例紹介 vol.4～Nintendo museum～



職長を務めました!

なかむら しげはる
中村 重治さん

夏原の関わり

当社は2022年秋から約1年かけて、施設全体の耐火壁や共用部・お手洗いの内装などを担当しました。協力会社さんも含めて多いときで1日10人程、延べ人数約1500人が携わりました。

この現場ならではのこだわり

● どんな場所でも手を抜かないプロ魂 ●

今回私たちが手がけたもののメインは耐火壁であり、装飾会社さんが飾りをつける、いわゆる「下地」の部分。お客様の目に触れるものではありません。しかし、手を抜かずいつも通りの高クオリティで、さらに目に触れる部分はいつも以上に綺麗に仕上げよう!という気持ちで臨んでいました。特に仕上がりを見る目が厳しいゼネコンから、「完璧!」と言われるような出来となるよう、細部までこだわりました。

ニンテンドーミュージアムとは?

2024年10月2日京都府宇治市にオープンした、任天堂の歴史やものづくりのこだわりを来訪者に伝える広報施設。



● 複雑な仕様の円形階段を 最高の出来にしたい! ●

お客様の目に触れ、目立つ場所にある「吹き抜け階段」の出来栄には、かなりこだわりを持って取り組みました。下地が円形となっているため繊細な作業が求められ、垂れ壁は基準となるものがないため、時間をかけて慎重に進めました。取り決めも多く、難しかったのですが、肝である下地部分を村岸さんが中心となって進めてくださったおかげで、理想通りの仕上がりとなり満足しております。

ニンテンドーミュージアムならではの……

意識したこと

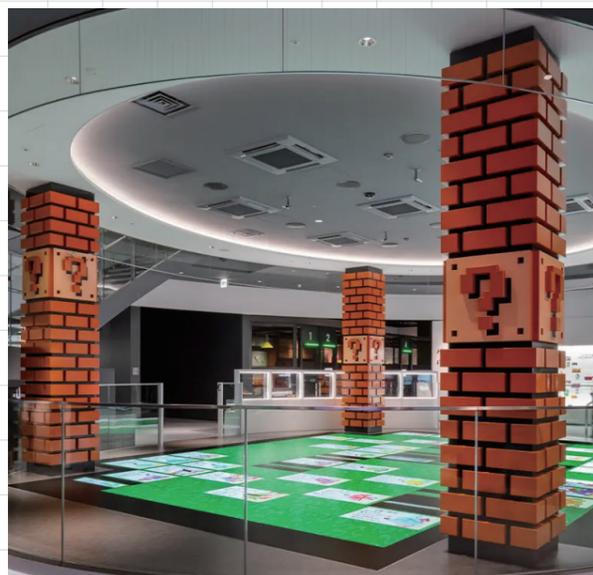
● 調整や交渉は職長の腕の見せどころ ●

大規模施設なので関わる企業が多く、スムーズに進めるためには、念入りな打ち合わせや調整が必要でした。それぞれが気持ち良く仕事ができるように、**問題点は早めにピックアップし関係各所と協議**。遅れを生じさせず、尚且つ私たちの意見が通りやすいよう、他社との打ち合わせや調整も村岸さんと協力して行いました。

完成した今の気持ち

● 大きな役割を果たす部分をつくったことにプライドを持ってほしい! ●

「綺麗に仕上がったな」というのが率直な感想です。携わった箇所はほとんどが表に出ていないので、もしかしたら見て、さみしい気持ちになる人もいるかもしれません。しかし、**私たちが手がけたものは、全体の下地となる大事な役割を果たすもの**。自分たちの仕事に自信と誇りを持ち、自身を労ってあげてほしいと思います!



気もつけたこと

● 漏れてしまえば大問題!情報管理 ●

こういった注目度の高いアミューズメントパークの建設に携わる際に、関係業者として一番気をつけなければいけないのは、**情報漏洩を防ぐこと**。外部にまだ公開されていない情報や施設の概要を知ることができますが、外部に漏らしてしまえば会社の重大責任となります。**職人さんの意識が薄れないようにこまめに注意喚起を行うことも、職長としての重大な務めでした。**



協力してくださった皆様へ

一致団結し、良い雰囲気をつくってくださったことに感謝!

厳しいスケジュールで遅れが生じてしまったとき、職人さんたちは残業のお願いにも快く応じてくださり、より良くするための意見を積極的に出してくださいました。本当に心強く、前向きな姿勢にたくさん助けられました。感謝しかありません。また、村岸さんのサポートや活躍のおかげで無事に完成することができました。皆様、ご協力本当にありがとうございました!

無意識に身体が反応しちゃう!?

私の職業病

プライベートのとき、つい仕事の癖が出てしまうことはありませんか?現場で作業されている方は、特に思い当たる節があるのではないのでしょうか。今回は2名の方に、無意識に出てしまう職業病についてお聞きました!



なか みち つかさ
中道 師さん

癖になっている理由

つい気になって自然と目が行くように

普段から、内装工事の仕事で天井の下地・ボード貼りをしているため、つい気になってしまうのだと思います。癖になったのは、この仕事を始めて5年目くらいからでしょうか。自然と目がいくようになりました。

私の職業病

どこに行っても天井を見上げてしまう

外出先で、いつもつい天井を見上げてしまうことが私の職業病です。良い天井、悪い天井をジャッジしているというわけではなく、何となく「この天井は、デザインが凝っているなあ」と感じる程度。特に仕事に活かすために観察しているわけではありませんが、癖になっています(笑)



職業病エピソード

宿泊先の美しい天井にうっとり

先日、プライベートで京都旅行に行ったのですが、宿泊先のホテルの天井がとても美しく、印象に残っています。おそらく歴史のある洋風の建築物で、平らではなく段がついた凝った構造になっていました。高さに変化をつけた設計のため、作る工程はきっと大変だったであろうと思います。



にしうら まさき
西浦 雅季さん

癖になっている理由

人の仕事を見て、自分の仕事を再確認

いつから始めたのかは覚えていませんが、もうかなり昔だと思います。他の方が綺麗に作業されていると、自分もしっかりやらなければという気持ちになるため、無意識にプレッシャーをかけているのかもしれない!

私の職業病

つい壁を触りながら現場を歩いてしまう

ボードとボードの境目に段がついていないか、綺麗に貼れているかが気になり、つい触ってしまう癖があります。自分で施工した壁はもちろん、他の方が作業をした壁であっても、ふと気がつくと触って確かめてしまうのです。



職業病エピソード

次工程の方からお褒めの言葉が

ボードを貼るときは、作業後に全体を見て確認することが重要です。その上で、気になるところがあればすぐに修正。そうすることで、経験が浅い方でも綺麗に貼ることができると思います。また、私がいつも心がけているのは、次工程の業者の方に安心していただく仕事をすること。「ここ綺麗に貼ってあるな」と言われるよう、一緒に頑張りましょう!

心得浸透企画

配慮編



なつはら そうすけ
夏原 崇介社長

夏原の「心得」について社長に解説をしていただくコーナー。今回は「配慮」がテーマです。現場で働く職人さんへ、感謝の気持ちを伝えること、丁寧な態度を持つことの大切さについて、社長から実践的なアドバイスと熱いメッセージをいただきました。

配慮

- 相手への配慮を忘れず、言葉遣いに気をつけ、思いやりを持って人と接している
- 常に感謝の気持ちを持ち「ありがとう」「ごめんなさい」をしっかりと言えている
- 誰かにものを頼むとき、相手の都合を考え日数に余裕を持たせて依頼している
- 次に使う人、管理している人のことを考えて行動している



「配慮」の項目を定めた背景

丁寧な態度と感謝の気持ちが信頼関係をつくる

仕事を円滑に進めるコツとして、**相手に気に入ってもらえること**が重要だと思います。そのためには言葉遣いに気をつけ、思いやりを持って人と接することが大切です。また、**挨拶やお礼は声に出すこと**で、初めて相手に伝わるもの。相手に信用してもらうためには、「配慮」の気持ちを持ってコミュニケーションをとるように心がけてもらいたく思います。

理想の姿

先輩・後輩の垣根を越えた思いやり

現場では、先輩・後輩の関係があり、それぞれに「配慮」してほしいことがあります。後輩は、作業を教える先輩に対して感謝の気持ちをしっかりと伝え、**積極的に教わりにいく姿勢**を持ってください。一方で、先輩はただ怒るのではなく、どのような点が良くなかったのかを**丁寧にレクチャー**しましょう。



夏原社長が見た!
職人さんの「配慮」に優れた行動



会社の共用物を大切に使う心構え

ある職人さんは、みんなのことを第一に考え、行動してくれています。みんなが乗るからと、車の中を掃除して綺麗に使っているのです。「配慮」の気持ちがあれば、車を使うみんなも綺麗に車を使うのではないのでしょうか。誰からも頼まれていないことを率先してやってくれるため、非常に評価しています。